

(別表第1の4)

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム秦皇

作成日：平成22年5月29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向け取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	4	運営推進会議に参加する人の固定化、参加人数が少ない点。家族の方、地域の方との協力関係が確立していない。	・地域の方や家族の方に、新たに参加して頂くよう働きかける。	・家族の方に会の趣旨を理解して頂けるよう、面会に来られた時などに説明をさせて頂く。	か月	・家族の方にお話しているのですが、目標達成には時間がかかりそうである。 ・消防団の方に参加していただく予定となっている。
2	35	・避難訓練を行っていない。 ・防災マニュアルを作成していない。	・避難訓練をする。 ・防災マニュアルを作成する。	・日時を決め消防署に協力要請をする。 ・消防署の方に防災についての具体的な内容を聞く。	2 か月	・避難訓練はただちに実行でき目標達成した。 ・完全なものではないが一応作成できた。
3	20	・日々の業務に追われホーム周辺との交流ができていない。 ・利用者の身体的レベルが下がり、外出することが難しくなっている。	・外出ができにくくなっているため、外部の方にホームに来て頂くようにする。	・運営推進会議の時に区長さん、班長さんにホームの考えを話し、それを地区の集まりの時などに住民の方に伝えて頂くようお願いをする。	か月	今年に入り、区長さん、班長さんに伝えてはいるがまだ地域の方は来られていない。しかし、「行ってもいいが」との打診は頂いている。
4	49	日常的な外出支援は個人的に散歩すると、1名の利用者の方に対してスタッフ1名が同行することになり、他の利用者のケアを2名のスタッフで行うことになる。	・短時間の散歩でも利用者の方の要望を見きわめて実行する。	・民家のある所までとなると距離があるので、玄関を出るといった具体的な試みによりホームの外回り(庭)などを見に行くようにする。	2 か月	利用者全員というわけではないが、数名の方は外に出る機会ができた。
5	33	スタッフだけが看取るというのでは、スタッフの精神的な負担が大きすぎる。	・看取りをする時は、早い段階で家族の方と具体的な話し合いをする。	・家族の方にはホームの考えなどを、お気持ちを配慮しながら伝えていく。 ・スタッフの間でも看取りに対しての心構えなど勉強会を開く。	4 か月	スタッフの間の看取りに対しての勉強会は、カンファレンスの時を利用して話し合っている。

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。